

愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程学位論文の予備審査に関する内規

令和2年12月24日
制 定

(趣旨)

第1条 この内規は、愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程における学位論文の審査及び最終試験の実施に関する細則第2条第3項の規定に基づき、学位論文を提出する者が受ける予備審査の実施に関し、必要な事項を定める。

(内容)

第2条 予備審査は、学位論文の草稿が看護学専攻博士後期課程の学位論文審査基準で示された内容に相当しているかを審査する。

(条件)

第3条 学位論文を提出する者が予備審査を受けるための条件は、日本学術会議協力学術研究団体として登録されている学会の学術雑誌又は査読のある海外の学術雑誌に本人を筆頭著者とする論文(英語論文を含む。以下「参考論文」という。)を1編以上掲載又は掲載が決定していることとする。

2 前項に規定する論文は、修士課程(博士前期課程)修了以降に掲載された論文であることとする。なお、原著論文である必要はない。

(手続)

第4条 学位論文を提出する者が予備審査を受けようとするときは、次の各号に掲げる書類(以下「関係書類」という。)を指導教員の承認を得た上で、看護学専攻長(以下「専攻長」という。)に提出しなければならない。

- (1) 予備審査申請書(第1号様式)
- (2) 学位論文
- (3) 論文目録(第2号様式)
- (4) 論文要旨(第3号様式)
- (5) 参考論文が掲載又は掲載が決定していることを証明する書類

2 提出時期は、修了予定年次の11月第2火曜日(9月修了予定の者については、5月第2火曜日)とする。この場合において、当日が休業日に当たるときは、その直後の平日とする。

(審査の付託)

第5条 専攻長は、前条の規定により関係書類の提出があったときは、医学系研究科看護学専攻会議(以下「専攻会議」という。)に審査を付託する。

(審査委員会)

第6条 専攻会議は、学位論文ごとに速やかに審査委員会を設ける。

2 審査委員会は、主査1人及び副査2人の計3人の委員をもって組織する。

3 審査委員会の主査及び副査は、主指導教員及び副指導教員とは異なる教員のうち、研究指導を担当する資格を有する教授又は准教授から、専攻会議において選出する。

(審査及び報告)

第7条 審査委員会は、11月末(9月修了予定のものについては5月末)までに審査を行い、その結果を専攻会議に報告しなければならない。

(通知)

第8条 専攻長は、前条に規定する報告に基づき、予備審査の結果を申請者に通知する。

(雑則)

第9条 この内規に定めるもののほか、予備審査に関して必要な事項は、専攻長が定める。

附 則

この内規は、令和2年12月24日から施行する。

附 則

この内規は、令和5年11月16日から施行する。

附 則

この内規は、令和6年1月18日から施行する。

附 則

この内規は、令和6年12月2日から施行する。

(第1号様式)

予備審査申請書

令和 年 月 日

愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻長 殿

主指導教員承認印	副指導教員承認印	

申請者

年度入学

愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程

氏名

印

下記論文について関係書類を提出しますので、予備審査をお願いいたします。

記

論文題目	

添付書類

- 1) 学位論文
- 2) 論文目録 (第2号様式)
- 3) 論文要旨 (第3号様式)
- 4) 参考論文が掲載又は掲載が決定していることを証明する書類

(第2号様式)

論文目録

氏名 _____

〔学位論文名〕 _____

〔英 語〕 _____

〔参考論文〕(掲載または掲載が決定しているもの)

題 目

著 者 名

学術雑誌名

(巻, 号, ページ) (, ,)に掲載・掲載が決定

発 行 年 年

題 目

著 者 名

学術雑誌名

(巻, 号, ページ) (, ,)に掲載・掲載が決定

発 行 年 年

題 目

著 者 名

学術雑誌名

(巻, 号, ページ) (, ,)に掲載・掲載が決定

発 行 年 年

- (備 考) 1. 学位論文名は日本語とし, 英語の論文名がある場合は併記すること。
2. 著者名は共著者も含め全員フルネームで記載すること。

(第3号様式)

論文要旨

氏名

論文名

学位論文要旨(和文 2,000 字)

(標準書式: 日本工業規格 A4, 11 ポイント, 1 行 38 字, 1 ページ 40 行, 左右余白 25mm)

氏名 _____

キーワード (3~5)	
-------------	--

(第4号様式)

学位論文予備審査結果報告書

令和 年 月 日

愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻長 殿

審 査 委 員	
主 査	印
副 査	印
副 査	印

氏 名	
専 攻	
論 文 題 目	

上記の者につき、下記のとおり審査結果を報告いたします。

記

審査結果	
------	--

(審査結果は、承認又は保留とする。)

予備審査について

1) 提出日時（年2回）

修了予定年次の11月第2火曜日17時（時間厳守）

（9月修了予定の者については、5月第2火曜日17時（時間厳守））

*当日が土・日曜日または祝日の場合は、その直後の平日とする。

2) 提出書類

①予備審査申請書（第1号様式）：1部

②学位論文：3部

③論文目録（第2号様式）：3部

④論文要旨（第3号様式）：3部

⑤参考論文が掲載又は掲載が決定していることを証明する書類：3部 注1)

注1) 参考論文は、日本学術会議協力学術研究団体として登録されている学会の学術雑誌（英語論文を含む）又は査読のある海外の学術雑誌へ本人を筆頭著者とする論文を1編以上掲載、あるいは掲載が決定していなければならない。ただし、修士課程（博士前期課程）修了以降に掲載された論文であることとする。なお、原著論文である必要はない。証明する書類として次のものを提出すること。

・既に掲載されている場合：掲載ページの1ページ目

・掲載が決定している場合：掲載承諾書、採択通知文書（メール文書可）等

3) 提出方法

バインダーに、「④論文要旨（第3号様式）」「②学位論文」「③論文目録（第2号様式）」「⑤参考論文が掲載又は掲載が決定していることを証明する書類」の順に綴り、「①学位申請書（第1号様式）」を添えて提出する。

4) 提出先

学務課大学院チーム

5) 予備審査

・11月末（9月修了予定の者については5月末）までに主査及び副査による予備審査を行う。リサーチ・ルーブリックを用いて研究内容がディプロマ・ポリシーで示された内容に相当しているかを審査する。

（40, 41 ページ参照）

・審査は、プレゼンテーション（30分）及び質疑応答（制限時間なし）とし、学位論文審査基準に準じて行う。（24 ページ参照）

・予備審査の判定結果は「合格」又は「保留」とし、「保留」の場合は学位論文等を修正の上、次回以降の予備審査となる。

・予備審査の判定結果は、12月（9月修了予定の者については6月）に開催される看護学専攻会議で報告する。

6) 予備審査様式は、愛媛大学医学系研究科・医学部 HP から取得できる。